

# 近江の仏像を伝える

## 新・琵琶湖文化館の目指すもの

講師 高梨純次（公益財団法人秀明文化財団理事）



聖観音立像（南郷町所蔵）

令和3年度文化経済サロン

とき 令和3年9月9日（木）午後2時～4時

ところ 滋賀県立文化産業交流会館第1会議室（米原市下多良二丁目137）

# 近江の仏像を伝える 新・琵琶湖文化館の目指すもの

高梨 純次  
Junji Takanashi



昭和 28 年（1953）京都市に生まれる  
昭和 54 年（1979）同志社大学大学院文学研究科博士前期課程修了。  
滋賀県立琵琶湖文化館学芸員として奉職。  
昭和 57 年（1982）滋賀県教育委員会事務局県立美術館開設準備室に勤務し、  
滋賀県立近代美術館学芸課長となる。  
現在は（公財）秀明文化財団理事（MIHO MUSEUM 研究・展示担当）。  
著書 写真・寿福滋『近江の祈りと美』2010 年 サンライズ出版。  
『近江の古像』2014 年 思文閣出版。

滋賀県全域に、本当に多くの、優れた仏像をはじめとする造形文化財が伝えられています。その多くが、地域単位で守り継がれています。地域社会の変貌とともに、伝えるためのシステムが機能しなくなっています。国宝や重文に指定されている貴重な文化財も、滅失するかもしれない危機に瀕しています。

昭和三十六年（一九六二）に開館した滋賀県立琵琶湖文化館は、国宝や重文に指定される仏像・神像、仏画や仏具、古写経など、近江国を特徴付ける文化財を保存し、活用するために活動してきました。しかし、平成二十年に閉館し、それから十年以上、琵琶湖文化館の再建の必要性は常に唱えられながら、諸般の事情によって実現されていませんでした。しかし近年に至って、新・琵琶湖文化館の再建が具体化しています。

今回の文化経済サロンでは、近江の仏像の特色を説明し、今後の課題などについても触れてゆきます。併せて実りある討論も行えるよう、企画いたしました。

聖観音菩薩立像（長浜城歴史博物館蔵）

令和 3 年度 文化経済サロン

令和 3 年 9 月 9 日（木）午後 2 時～4 時

滋賀県立文化産業交流会館 第 1 会議室（米原市下多良 2 丁目 137）

入場無料 定員 50 名

参加のお申し込みは、お名前、ご住所（市町名）、電話番号をメールまたは FAX で、主催・問い合わせ先に送信してください。定員になり次第締め切ります。

主催・問い合わせ先

文化・経済フォーラム滋賀・（公財）びわ湖芸術文化財団

電話 077-523-7146 FAX 077-523-7147 メール bunka-keizai@biwako-arts.or.jp



文化で滋賀を元気に！